建物の基礎知識について

【建築編】
～図面の見方のポイント～

令和３年度施設管理担当者研修会

図面の種類①

設計図面

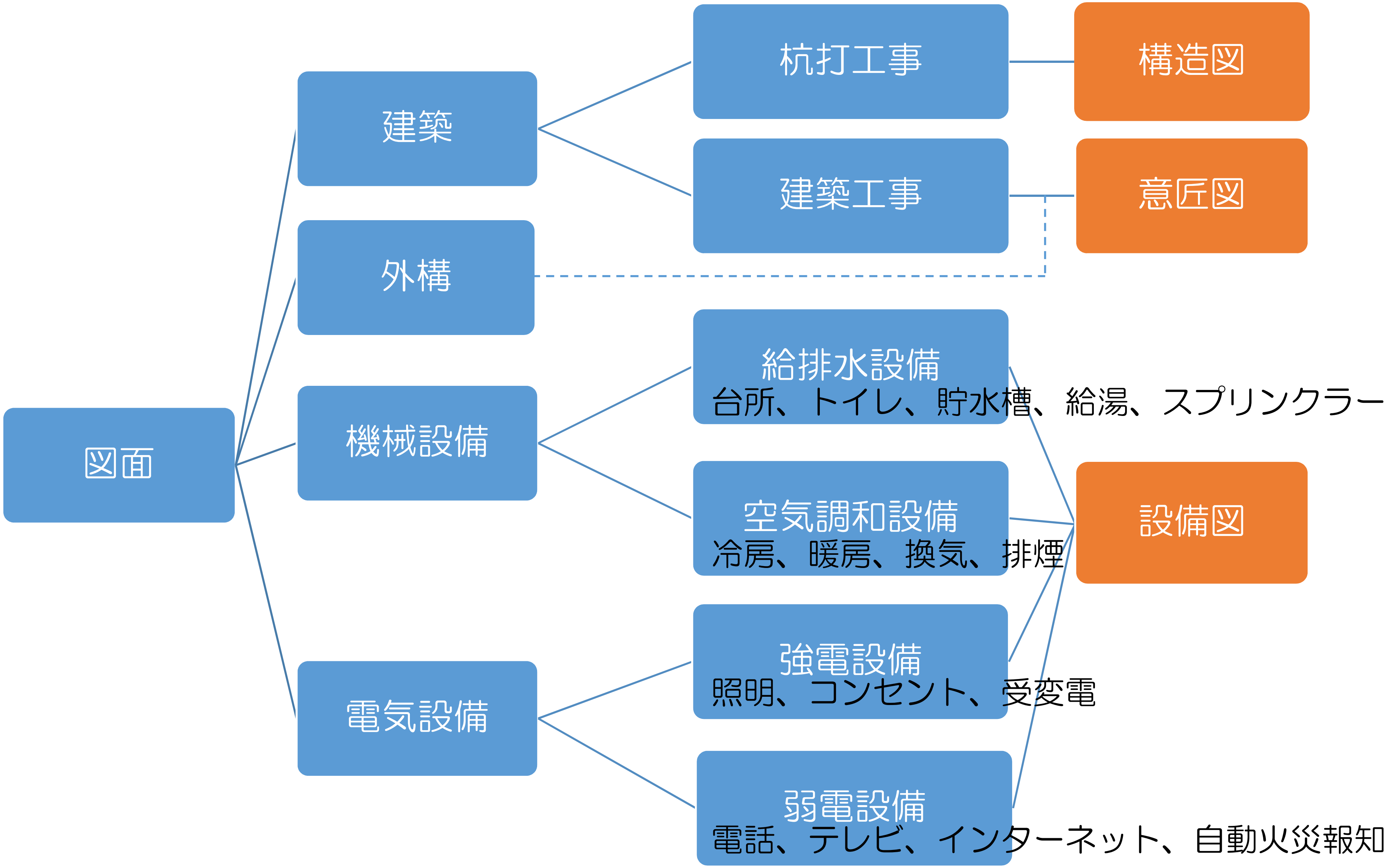
- 建物などを建築する際に作成し、建築工事はこの「設計図面」に従って進める。

竣工図面

永年保存！

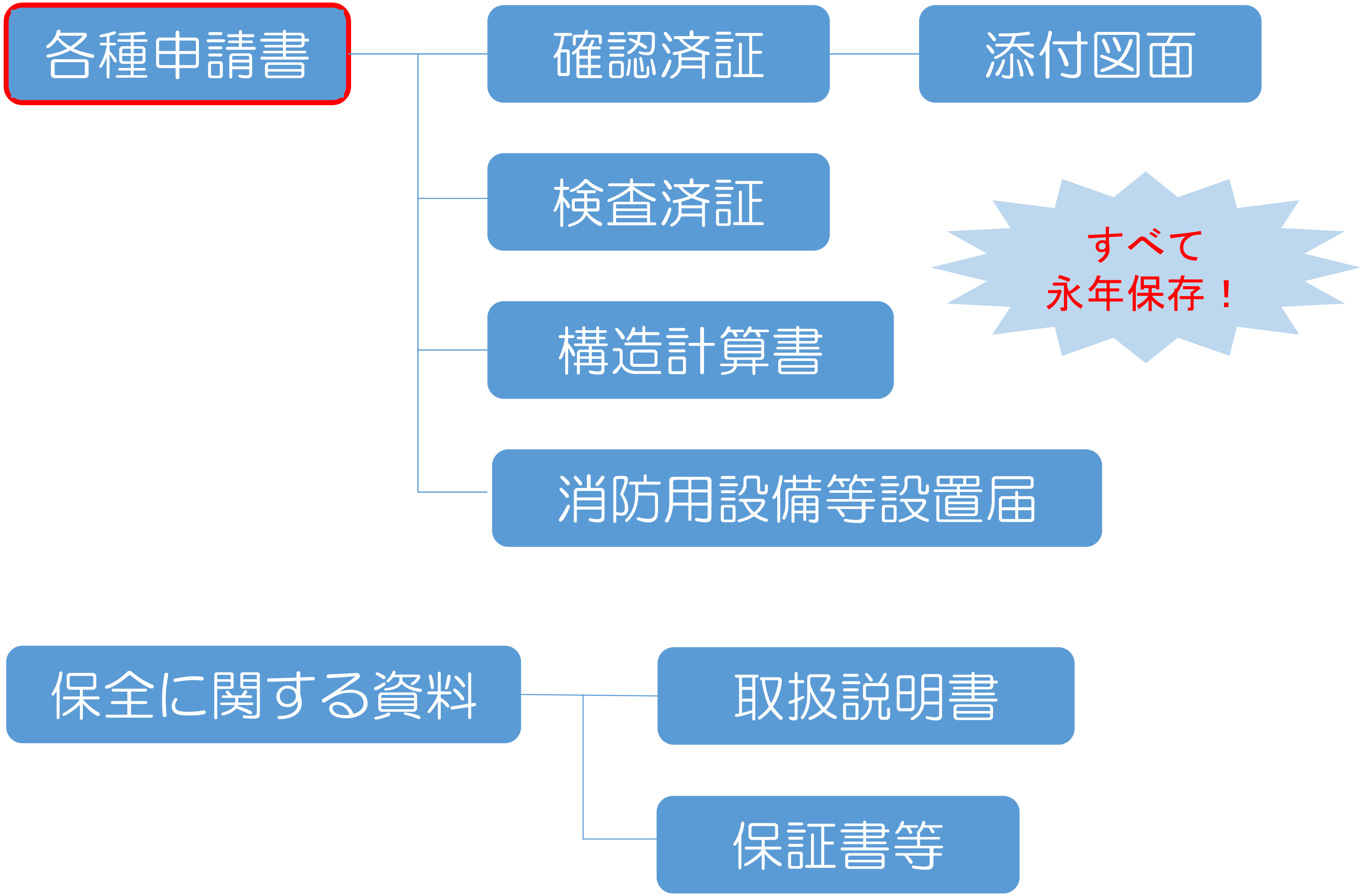
- 工事を進めていく過程の中で、発注者からの要望や技術的な理由で大なり小なりの変更が生じることがあり、その変更部分について「設計図面」を修正した図面を指す。

図面の種類②



図面
建築
外構
機械設備
電気設備
杭打工事
建築工事
給排水設備
台所、トイレ、貯水槽、給湯、スプリンクラー
空気調和設備
冷房、暖房、換気、排煙
強電設備
照明、コンセント、受変電
弱電設備
電話、テレビ、インターネット、自動火災報知
構造図
意匠図
設備図

図面の種類③


各種申請書
確認済証
添付図面
検査済証
すべて
永年保存！
構造計算書
消防用設備等設置届
保全に関する資料
取扱説明書
保証書等

確認済証の例

第四十二号の三様式（第八条の二関係）

建築基準法第18条第３項の規定による
確認済証

第Ｒ０２計認昇降上北０００２号
令和２年１２月３日

青森県知事　三村　申吾　様

上北地域県民局　建築主事 [redacted]

下記の計画は、建築基準法第18条第３項（同法第６条の４第１項の規定により読み替えて適用される同法第６条第１項）の建築基準関係規定に適合していることを証明する。

記

１．通知年月日　令和２年１１月１８日　付け
　第 [redacted] 号

２．建築場所、設置場所又は築造場所
　[redacted]

３．建築物、建築設備若しくは工作物又はその部分の概要
　（昇降機）
　（１）設置する建築物又は工作物
　　名称 [redacted] 改修工事
　　用途　事務所
　（２）昇降機の種別　エレベーター
　（３）昇降機の用途　兼：車いす用
　（４）積載荷重　７，３５０．００Ｎ
　（５）最大定員　１１人
　（６）定格速度　４５．００ｍ／分
　（７）その他必要な事項

４．適合判定通知書の番号

５．適合判定通知書の交付年月日

６．適合判定通知書の交付者

（注意）　この証は、大切に保存しておいてください。

この証は、大切に保存しておいてください。

図面の内容①

図面の種類	内容		利用例
特記仕様書	【共通】	工事内容の説明、材料・機材の仕様、工法・業者等の指定など。	修繕、改修時の施工方法の検討
外部仕上表	【建築】	建物外部の仕様。屋根・軒裏・外壁などの材料の仕様。	
内部仕上表	【建築】	建物内部の仕様。各室毎の床・巾木・壁・天井などの材料の仕様。	
配置図	【建築】	敷地に対する建物（植栽・塀などを含む）の配置状況。	建替、増築時の施工方法の検討
	【電気】	敷地内の電力引き込み、屋外配管方法。	修繕、改修時の施工方法の検討
	【機械】	敷地内の上下水道・ｶﾞｽ引き込み、屋外配管方法。	

図面の内容②

図面の種類	内容		利用例
系統図	【電気】	電気設備機器や配管経路などの概略断面図	ﾏｸﾛ的な流れの把握 修繕、改修時の施工方法の検討
	【機械】	空気調和設備機器や配管経路並びに給排水設備や配管経路概略断面図	
各階平面図 （平面詳細図）	【建築】	各階の間取り図。各部屋の配置、壁・建具などの位置。	清掃対象面積の算定 修繕、改修時の施工方法の検討
	【電気】	各階の照明、ｺﾝｾﾝﾄ、ｽｲｯﾁ、電話、ﾃﾚﾋﾞの位置や配管経路。	
	【機械】	各階の水回り器具、空調機器の位置や配管経路。	

図面の内容③

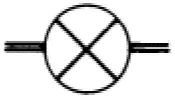
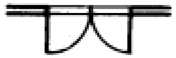
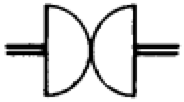
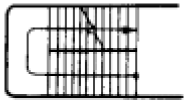
図面の種類	内容		利用例
立面図	建物を東西南北の横方向から見た図。		
	【建築】	外壁仕上げや縦方向の窓の位置。	
	【電気】	外壁に設置する照明、ｽｲｯﾁ等の位置。	
	【機械】	外壁に設置する換気口等の位置。	
断面図	【建築】	建物の主要な部分を垂直方向に切った図。天井高、軒高、階高など。	
(かなばかりず) 矩計図 （断面詳細図）	【建築】	詳細な断面図。基礎、床、天井、軒裏などにおける仕上げ材料、断熱材、下地材の仕様や収まり。	修繕、改修時の施工方法の検討

図面の内容④

図面の種類	内容		利用例
展開図	【建築】	各部屋を東西南北の横方向から見た図。建具や家具の位置。	
建具表 建具伏図	【建築】	窓、外部扉、内部扉などの建具の配置、個数、寸法、仕様など。	修繕、改修時の施工方法の検討
天井伏図	【建築】	天井を見上げた図。天窓の位置や天井の仕上げ材料。照明等の設備が明記されていることもある。	
外構図	【建築】	敷地内の門扉、フェンス、通路、駐車スペースなどの形状や仕上げ材、門灯、庭園灯などの仕様など。	

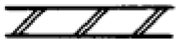
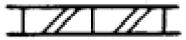
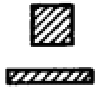
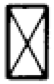
図面の記号①

≪建築工事平面図記号≫

				
出入り口一般	回転扉	片引き戸	シャッター	上げ下げ窓
格子付窓	引込戸	折タタミ戸	網戸	片開き戸
				
両開き戸	両開き窓	両開き防火戸	伸縮間仕切り	雨戸
				
片開き窓	自由扉	引き違い戸	ＦＩＸ窓	階段

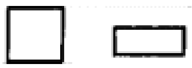
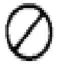
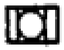
図面の記号②

≪建築工事材料等記号≫

				
壁一般	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ壁	軽量壁	普通ﾌﾞﾛｯｸ壁	軽量ﾌﾞﾛｯｸ壁
				
地盤	木材 （化粧材）	木材 （構造）	木材 (補助構造材)	割栗石
石材	左官仕上	ガラス	畳	保温、吸音材

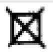
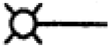
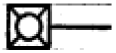
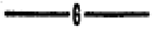
図面の記号③

≪電気・機械工事平面図記号①≫

				
天井付 蛍光灯	壁付 蛍光灯	ｼｰﾘﾝｸﾞ ﾗｲﾄ	ﾌﾞ ﾗｹｯﾄ型照明	ﾀﾞ ｳﾝﾗｲﾄ
				
ｺｰﾄﾞ ﾍﾟ ﾝﾀﾞ ﾝﾄ	埋込型ｽｲｯﾁ 片切	埋込型ｽｲｯﾁ ３路	埋込型ｺﾝｾﾝﾄ １個口	埋込型ｺﾝｾﾝﾄ 2個口
埋込型ｺﾝｾﾝﾄ ｱｰｽ付	同 防水型	ﾊﾟ ｲﾛｯﾄﾗﾝﾌﾟ	調光ｽｲｯﾁ	畳用ｽｲｯﾁ
				
引込開閉器	電灯分電盤	電話保安箱	ﾃﾚﾋﾞ ｱﾝﾃﾅ	電話受口

図面の記号④

≪電気・機械工事平面図記号②≫

				
電路 (天井隠蔽)	電路 (床隠蔽)	電路 (地中埋設)	立上げ 引下げ	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ
				
ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	設置工事	換気扇	給水栓	給湯栓
				
混合水栓	散水栓	床排水ﾄﾗｯﾌﾟ	汚水桝	雑・雨水桝
				
給水管	給湯管	雑排水 汚水管	ガス管	給湯器ｺﾝﾄﾛｰﾗ

意匠図

図面リスト

図面番号	図面内容
1100	図面リスト
1101	特記仕様書1
1102	特記仕様書2
1103	特記仕様書3
1104	工事区分表
1105*2	案内図、配置図及び仮設計画図
1106	面積表1
1107	面積表2
1108	面積表3
1109	床、巾木、壁、標準ディティール1
1110	壁、天井、標準ディティール2
1111	壁、天井、標準ディティール2
1112	外部仕上表
1113	内部仕上表1
1114	内部仕上表2
1115	内部仕上表3
1116	内部仕上表4
1117	内部仕上表5
1118	B2　B1階平面図
1119	1　2階平面図
1120	3　4階平面図
1121	5　6階平面図
1122	7　8階平面図
1123	PH1　PH2階平面図
1124	南側立面図
1125	西側立面図
1126	北側立面図
1127	東側立面図
1128	断面図1
1129	断面図2
1130	矩計図1
1131	矩計図2
1132	矩計図3
1133	矩計図4
1134	塔屋階矩計図
1135	ヘリポートスロープ詳細図
1136	階段室1平面詳細図
1137	階段室1断面詳細図
1138	階段室2平面詳細図1
1139	階段室2平面詳細図2
1140	階段室2断面詳細図
1141	屋外非常階段断面詳細図
1142	エレベーター1　断面詳細図
1143	エレベーター4　断面詳細図
1144	地下ピット平面詳細図
1145	地下2階平面詳細図
1146	地下1階平面詳細図
1147	1階平面詳細図
1148	2階平面詳細図
1149	3階平面詳細図

図面番号	図面内容
1150	4階平面詳細図
1151	5階平面詳細図
1152	6階平面詳細図
1153	7階平面詳細図
1154	8階平面詳細図
1155	PH1階平面詳細図
1156	PH2階平面詳細図
1157	柱平面ディティール1
1158	柱平面ディティール2
1159	柱平面ディティール3
1160	煙突詳細図1
1161	煙突詳細図2
1162	断面詳細図1
1163	断面詳細図2
1164	断面詳細図3
1165	断面詳細図4
1166	断面詳細図5
1167	断面詳細図6
1168	断面詳細図7
1169	断面詳細図8
1170	断面詳細図9
1171	スリーブ開口補強数量図
1172	渡廊下平面図
1173	警察*%%d舎改修及び渡り廊下詳細図
1174	渡り廊下矩計詳細図
1175	警察庁舎側風除室詳細図
1176	1階便所平面詳細図1
1177	1階便所平面詳細図2
1178	基準階便所平面詳細図1
1179	基準階便所平面詳細図2
1180	廊下展開図1
1181	廊下展開図2
1182	廊下展開図3
1183	廊下展開図4
1184	4階展開図
1185	8階展開図1
1186	8階展開図2
1187	8階展開図3
1188	B2、B1階天井伏図
1189	1、2階天井伏図
1190	3、4階天井伏図
1191	5、6階天井伏図
1192	7、8階天井伏図
1193	PH1、PH2階天井伏図
1194	B2階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1195	B1階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1196	1階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1197	2階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1198	3階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1199	4階建具伏図、採光・換気・排煙検討表

図面番号	図面内容
1200	5階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1201	6階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1202	7階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1203	8階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1204	PH1階建具伏せ図、採光・換気・排煙検討表
1205	PH2階建具伏図、採光・換気・排煙検討表
1206	建具表1
1207	建具表2
1208	建具表3
1209	建具表4
1210	建具表5
1211	建具表6
1212	建具表7
1213	建具表8
1214	建具表9
1215	建具表10
1216	建具表11
1217	建具表12
1218	ファンコイル詳細図1
1219	ファンコイル詳細図2
1220	ファンコイル詳細図3
1221	VFRC版リスト
1222	VFRC版　南、北立面割付図
1223	VFRC版　東、西立面割付図
1224	VFRC版　1F平面割付図
1225	VFRC版　2F平面割付図
1226	VFRC版　3F平面割付図
1227	VFRC版　4F～8F平面割付図
1228	VFRC版　PH1,　PH2平面割付図
1229	VFRC版　基準矩計図
1230	VFRC版　ディティール　Ｎo,1
1231	VFRC版　ディティール　Ｎo,2
1232	４ＦＬ 北面煙突部矩計図
1233	電動式移動書架平面図仕様書
1234	電動式移動書架姿図詳細図
1235	B1、B2階サインキープラン
1236	1、2階サインキープラン
1237	3、4階サインキープラン
1238	5、6階サインキープラン
1239	7、8階サインキープラン
1240	R、　PH階サインキープラン　サインリスト
1241	サイン詳細図（1）
1242	サイン詳細図（2）
1243	サイン詳細図（3）
1244	外溝平面図、詳細図
1245	既存植栽平面図
1246	外部二次シーリング参考図

図面番号	図面内容
2001	建築構造特記仕様
2002	鉄筋規準図（1）
2003	鉄筋規準図（2）
2004	鉄筋規準図（3）
2005	鉄骨規準図（1）
2006	鉄骨規準図（2）
2007	鉄骨規準図（3）
2008	鉄骨規準図（4）
2009	鉄骨規準図（5）
2010	鉄骨規準図（6）
2011	鉄骨規準図（7）
2012	場所打ちコンクリート杭特記仕様
2013	地質柱状図
2014	基礎、ピット伏図
2015	地下2、1階伏図
2016	1、2階伏図
2017	3、4階伏図
2018	5、6階伏図
2019	7、8階伏図
2020	R、PH階伏図
2021	軸組図（1）
2022	軸組図（2）
2023	軸組図（3）
2024	軸組図（4）
2025	軸組図（5）
2026	軸組図（6）
2027	軸組図（7）
2028	軸組図（8）
2029	軸組図（9）
2030	軸組図（10）
2031	軸組図（11）
2032	軸組図（12）
2033	軸組図（13）
2034	軸組図（14）
2035	基礎詳細図（1）
2036	基礎詳細図（2）
2037	基礎詳細図（3）
2038	[illegible]断面表（[illegible]）
2039	柱断面表（[illegible]）
2040	柱断面表（3）　柱キープラン図
2041	大梁断面表（1）
2042	大梁断面表（2）
2043	鉄骨大梁断面表（1）
2044	鉄骨大梁断面表（2）
2045	床版、小梁、壁リスト
2046	鉄骨詳細図（1）
2047	鉄骨詳細図（2）
2048	鉄骨詳細図（3）
2049	鉄骨詳細図（[illegible]）
2050	ラーメン[illegible]詳細図

図面番号	図面内容
2051	鉄骨階段詳細図
2052	雑詳細図（1）
2053	雑詳細図（2）
2054	雑詳細図（3）
2055	粘性体制震壁　位置図
2056	粘性体制震壁 Aタイプ詳細図
2057	粘性体制震壁 Bタイプ詳細図
2058	粘性体制震壁 Cタイプ詳細図
2059	粘性体制震壁 Dタイプ詳細図
2060	渡り廊下一伏図、軸組図、部材リスト
2061	渡り廊下一基礎詳細図、地中梁断面表
2062	渡り廊下一鉄骨詳細図
2063	ヘリポート立体トラス特記仕様書
2064	ヘリポート伏図（1）
2065	ヘリポート伏図（2）
2066	ヘリポートデッキ梁伏図
2067	ヘリポートデッキ詳細図
2068	ヘリポートスロープ詳細図
2069	ヘリポート非常階段詳細図
2070	パラボラアンテナ鉄骨支柱詳細図
2071	山留め計画（参考図）
2072	カーテンウォール鉄骨補強図（1）
2073	カーテンウォール鉄骨補強図（2）

図面番号と図面名をリスト化

設計者

特記事項

工事名

年　月	照　査	作成者
竣工図		

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.

東北支社
一級建築士大関勝彦
登録番号 55010号
検図
製図

訂正

特記

県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容: 図面リスト
縮尺:

図面番号: 1100
枚ノ内 15
区分: 建築一般図

特記仕様書

2. 用途地域.公害規制等　　市街化区域　商業地域　防火地域

3. 敷地面積　　3740.32m2　（南側道路後退予定面積含む）

4. 工事種目　　新築

名称	構造	階数	工事種別	床面積	適用
庁舎本体	鉄骨造	地上8階 地下2階	新築	26,331.37m2	（建築工事一式、植栽工事は除く）
渡り廊下	鉄骨造	1階	新築	150.11m2	建築工事一式
警察庁舎解体改修					渡り廊下接続に伴う工事
旧社会福祉会館解体	鉄筋コンクリート造			475.5m2	地下部分 及び 本工事杭の障害となる杭

項目は、番号に○印のついたものを適用する。

2. 特記仕様
1) 項目は、番号に ○ 印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印のつかない場合は、※ 印のついたものを適用する。
⊙ 印と ⊛ 印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	①. 適用基準等	⊙営繕工事写真作成標準（東北地方建設局営繕部監修 平成元年版） ⊙鋼製軽量建具標準詳細図（東北地方建設局営繕部監修 昭和56年版及び昭和60年4月追加版） ⊙標準色見本帳 ⊙鉄骨工作標準（建設大臣官房官庁営繕部監修 昭和61年版） ⊙鉄骨標準仕様・標準図（青森県建築士事務所協会制定 平成5年版）
	②. 技能士	⊙ 適用する　※適用しない　(1. 5. 2) 適用工事種目別　職業能力開発促進法による下記の1級技能士が常駐施工するように努めること。 ⊙ 鉄筋工事 ⊙コンクリート工事 ⊙防水工事 ⊙ブロック及びA．L．Cパネル工事 ⊙鉄骨工事 ⊙石工事 ⊙ タイル工事 ⊙木工事 ⊙屋根及び樋工事 ⊙左官工事 ⊙塗装工事 ⊙建具工事 ⊙内装工事 ⊙植栽工事 ・ 雑工事
	③. 電気保安技術者	・ 適用する　※適用しない　(1. 2. 3)
	④. 建築材料等	⊙ 建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。 ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
	⑤. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑥. 引き渡しを必要とする発生材	引き渡しを要する物　(1. 1. 10)
	⑦. 騒音振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき、指定された建設機械を使用する。
	⑧. 報告書	1. 建設工事下請報告書 本工事において下請契約金額が1件100万円以上の場合は、報告書2通を監督員に提出し通知する。 2. 主要機器資材メーカー報告書 本工事において使用する主要機器資材メーカーリスト2通を監督員に提出し通知する。 3. 技能士報告書　第1章第2項に掲げる工事については職業能力開発促進法に基づく技能士をもって施工させるよう努めること。
	⑨. 完成写真（工事写真）	完成写真はカラーサービス版でA4版スクラップ帖にし、撮影月日、被写体の場所、工事種別を記入し下記のものを監員 に提出する。 完成写真　カラーサービス版　4 部 工事写真　カラーサービス版　1 部 改修工事写真（着工前を左、完成写真を右にいれる） カラーサービス版　部 写真の撮影業者 ~~⊙ 監督員の承認する撮影業者~~
	⑩. 完成図面等	⊙ A1二つ折製本　1 部 ⊙ A3二つ折製本　1 部 ⊙ 黒表紙金文字入（判折たたみ→A4）　1 部 ⊙ 取扱説明書　1 部 ⊙ 承認図（完成図）　1 部
	⑪. 設備工事との取合い	施工範囲　※ 鉄筋コンクリート部の貫通孔　・開口部の補強 ※ 壁・天井の仕上げ材　・下地材の切り込み及び下地材の補強 ※ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ 施工図　※ 設備機器の位置、取り合いなどを検討できる施工図を提出して、監督員の承認をうける。
	⑫. 設計G．L	図示　・ 現状平均地盤高　⊙ 監督員の指示による
	⑬. 工事実績データーの作成、登録	⊙ 工事請負代金額 2,500万円以上の工事については、工事実績情報サービス（CORINS）入力システム （財）日本建設情報総合センター 7年3月）に基ずき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に、 （財）日本建設情報総合センターにフロッピーディスクにより提出するとともに、（財）日本建設情報総合センター発行 の「工事カルテ受領書」の写しを監督職員に提出する。提出期限は、以下のとおりとする。 (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後7日以内とする。 (2) 完了時登録データの提出期限は、工事完成後7日以内とする。 (3) なお、施工中に、受注時登録データーの内容に変更があった場合は、変更があった日から7日以内に変更データーを提出する。

章	項目	特記事項
工事	所	※ 設ける　・　(2 3.3)（表2.3.1） ・ 1号　・ 2号　・ 3号　・ 4号　⊙ 5号　（場所は、図示による） 備品は（ 2. 3. 4 ）によるほか、下記のものを備える。 連絡員　※ おかない　・ おく 電話　※ 設置する　・ 設置しない
	力	工事用水　構内既存施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない 工事用電力　構内既存施設　・ 利用できる（※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない
	③. 防止柵	工事現場内へ部外者の立ち入り防止のための防止柵を設ける。 ・ 板柵　⊙ 鉄板柵　・　⊙ 高さ 3.0m
	4. 仮設道路造成	仮設道路　長さ　m　幅員　m　下層工厚さ　mm　を設ける
③ 土工事	①. 埋め戻し及び盛り土の種別	⊙ A種　⊛ B種　・ C種　・ D種　(3.2.3)（表3.2.1） ・ 切込砂利又は切込砕石　C種の場合 建設発生土受入れ量　m² 発生場所 受入条件
	②. 建設発生土の処分	※ 構外に搬出し適切に処理する。(2.3.4) ・ 構内指示の場所に敷ならす。 ・ 構内指示の場所に堆積する。 ・ 構外指示の場所に処分する。 受入れ施設名　・ 住所（km）
④ 地業工事 建築構造特記仕様書参考	1. 直接基礎	長期設計地耐力　t/m²
	2. 既製くい地業	杭の種類　(4.2.1)(4.3.1) ・ 遠心力鉄筋コンクリート杭　※ 1種　・ 2種 ・ プレストレストコンクリート杭　※ A種　・ B種　・ C種 ・ 高強度プレストレストコンクリート杭　※ A種　・ B種　・ C種 ・ 外殻鋼管付コンクリート杭 ・ 鋼管杭　鋼管厚（ ）mm

杭種	記号	杭径（mm）	長さ（m）及び種別	継ぎ手箇所数（数/本）	長期設計支持力（t/本）	本数（セツトス数）
試験杭	⊗					
本杭	○					

継手　※ アーク溶接継手　(4.2.3)（4.3.3）
先端部形状　※ 閉塞平坦型　・ 閉塞ペンシル型　・ 開放型　(4.2.1)（4.3.1）
杭の施工法　(4.2.2)（4.3.3）
・ 打撃工法
・ 堀削打撃併用工法　プレボーリングの堀削深さ　現地盤 －　m
オーガー径　杭径　－50mm程度
・ セメントミルク工法

場所打ちコンクリート杭

③. 場所打ちコンクリート杭地業
廃棄物等の処分は23項に準ずる。

パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン　・ ポータブル式　・ ブーム式
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない
コンクリートの種別　・ A種　・ B種　(4.4.3)（4.4.1表）
鉄筋の種類　※ A種　・ B種
鉄筋のかぶり厚さ　※ 100
堀削工法　⊙ アースドリル工法　※ 安定液使用　・ 無水堀削　⊙ 拡底工法　(4.4.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

4. 載荷試験
試験方法及び報告書は地質調査共通仕様書（建設大臣官房官庁営繕部監修平成5年版）による。(4.5.4)
・ 平板載荷試験　箇所　最大荷重　t　試験する深さ　設計GL－　m
土質種別
・ 杭載荷試験　箇所　最大荷重　t

5. 床下防湿層
※ 設ける　・ 設けない

⑥. 捨てコンクリート
・ 60　⊙ 50

⑤ 鉄筋工事 建築構造特記仕様書参考

①. 鉄筋の種別　(5.1.1)

種類	類別	種別		備考
異型鉄筋	※ A類　・ B類	⊙ SD295A	※ D16以下	
		⊙ SD345	※ D19以上	

②. 溶接金網
※ JIS規格品　φ6×100×100 防水押さえ　φ6×150×150 雑コン　(5.1.2)

③. 鉄筋の継手　(5.2.1)

	接合方法	径（mm）	摘要
19mm 未満	⊛ 重ね継手	D16 ～ D10	（施工箇所など）
	・		
	・		
19mm 以上	⊛ ガス圧接	D19 ～ D25	梁．柱の主筋
	・ 重ね継手		

4. 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚　(5.2.1)

施工箇所	表 5. 2. 5 の値に加える寸法（mm）

5. 杭頭の補強
・ A形　・ B形　・ 図示　(5.3.1)(図5.3.2)

⑥. 帯筋
形の種別　※ H形　（ 5.4.1 (b) (1) による）(5.4.1)
・ W－。型　・ W－「型　⊙ S型スパイラル　・ 丸型　(図5.4.2)

7. 土間コンクリートの補強筋
・ 有　・ 無　(図5.7.14)

⑧. 梁貫通孔の補強
補強形式　⊙ H型　・ MH形　・ M形　⊙ 建設省告示に基づく評価品　(5.9.1)（図5.9.1）

⑨. 圧接完了後の検査
検査方式　※ 引張試験　・ 超音波深傷試験　(5.10.4)

⑥ コンクリート工事 建築構造特記仕様書参考

①. レディーミクストコンクリートの種類
※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　(表6.2.4)

②. 設計基準強度
普通コンクリート　(6.1.2)

Fo	(N/mm2)	施工箇所
・ 1.8	S15―C20	
※ 2.1	S15―C20	建築構造特記仕様参考
・ 2.1	S18―C20	
・		

無筋コンクリート
適用箇所は6.9.4による他は、下記による。(6.9.3)（6.9.4）

適用箇所	N/mm2
捨てコンクリート 増打コンクリート　防水押えコンクリート	建築構造特記仕様参考

③. 普通コンクリートの所要空気量
※ 4.5 o/vl

④. セメントの種類
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種　(6.2.1)
但し普通ポルトランドセメントにおいては、JISR6210による他、下記による。

項目		規程
水和熱	7日	
	28日	
全アルカリ		
塩化物イオン		

全アルカリの算出は、JISR5210ポルトランドセメント（低アルカリ形）による。

⑤. 骨材
細骨材の塩分含有量（NaCl)換算）　※ 0.04 o/wt 以下　(6.2.2)

⑥. 混和材料
混和材　※ AE剤又はAE減水剤標準形の1種、防水材　(6.2.4)

7. 軽量コンクリート　(6.7.2)（表6.7.1）

種別	適用箇所	気乾単位容積重量（ton/mm²）

⑧. 寒中コンクリート
所要空気量　※ 5.0 o/vl
適用期間　11月11日～3月20日
温度補正値 1.5N/mm2　5/15～6/7、9/2～9/17
3.0　4/7～5/14、9/18～10/16
4.5　3/21～4/6、10/17～11/6　(表6.13.1)
6.0　11/7～3/20　(表6.13.1)

⑨. 床コンクリートこて仕上げ

種別	施工箇所
※ A種	全て床
・ B種	

⑩. 型枠
せき板の種類　(6.14.1)
⊛ 合板型枠　・ 金属製型枠　・ 樹脂系型枠　・ 打込み型枠　・ ブロック型枠
・ ラス型枠　⊙ 曲面型枠
合板せき板の塗装　※ 無　・ 有
合板せき板の材質　※ 南洋材　・ 針葉材
⊙ 床型枠用鋼製デッキプレート

板厚	適用箇所
	建築構造特記仕様参考

⑪. 打放し仕上げ　(6.14.3)（表6.14.1）

種別	施工箇所
・ A種	
※ B種	地下階　壁、天井、梁
・ C種　コーン使用	
・ C種	

⑫. コンクリート耐久性向上対策
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び、コンクリートブロツク造等の鉄筋により補強されたコンクリート構造物に適用する。
Ⅰ ・ コンクリート中の塩化物量
1) 塩化物量（CL-重量）、（kg/mm2）の規制値は下記のとりとする。
※ 0.3以下
・ 0.3を超え0.6以下
2) 測定器は、財団法人国土開発技術研究センターの技術評価を受けたものとする。
3) 資料は、現場に搬入されたフレツシュコンクリートから採取するものとする。ただし、プレキャストコンクリート等工場で製作されたものは、品質管理データを提出し、現場搬入前に監督員の承諾を受けるものとする。
4) 資料は、下記により採取するものとし試験値は同一資料における3回の測定の平均値とする。
なお最初の試験は、打ち込み当初行うものとする、
※ 150m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。
・ 50m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。
5) 塩化物量の試験は、コンクリートの種類及び、生産工場別におこなうものとする。
6) 測定記録は、別表に記載のうえ、監督員に提出するものとする。
7) 測定した結果、不合格となつた場合は、次の運搬車から各運搬車ごと試験を行い、規制値以下であることを確認した後、使用するものとする。
ただし、この場合連続して10台の運搬車の試験が規制値以下であることが確認できれば、その後は、4) になる。

Ⅱ ・ アルカリ骨剤反応対策
1) 骨剤は、アルカリ骨剤反応性試験（JISA 5308の科学法、又はモルタルバー法）により安全と認められた骨剤を使用する。
ただし、安全と認められないものを使用する場合は、コンクリート中のアルカリ総量がR2O換算で3.0kg/m3以下のコンクリートを使用する。 この場合、事前に計算書を提出し監督員の承諾を得るものとする。
2) ・ 1) のアルカリ骨剤反応性試験は、つぎに掲げる試験機関で行うものとし、試験成績書を監督員に提出して承諾を得るものとする。
イ． 青森生コンクリート協同組合技術研修センター　　ヘ・ 青森県工業試験場
ロ． 秋田県生コンクリート工業組合技術研修センター　　ト・（財）青森県建設技術センター
ハ． 岩手県生コンクリート工業組合協同試験場　　チ・ 弘前大学
ニ． 宮城県生コンクリート中央技術センター　　リ・ 八戸工業大学
ホ． 庄内生コンクリート協同組合技術センター
イからりに準ずる試験機関で、あらかじめ監督員の承諾を得たもの。

⑬. 砕石及び砂利
⊙ JIS A 5005 A種による。

年 月 日	照査	作成者
竣工図	（印）	（印）

外部仕上表

2 － 1　外部仕上表

部位	仕上
屋　根 （防水）	コンクリート打同時押え＋アスファルト防水層（AI－1）＋押出発泡ポリスチレンァ50（B類3種）＋ フラットヤーンクロス＋押えコンクリートァ120金ゴテ押え（ワイヤーメッシュΦ6×100×100） 成形伸縮目地W＝25@3000内外、　本体棟上　オイルトラップ、設備機器取出口 北側 PH 柱廻部分ホ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2 0
ヘリポート	ウレタン樹脂系防水耐久床材　排水溝200×150、ステンレス製グレーチング、　文字書入　メナール　溶融亜鉛メッキ焼付上 （境界灯、境界誘導灯、着陸区域照明灯　泡消火設備200L/min　2台（ノズル埋込）用埋込BOX　粉末消火器　20kg　3台用埋込BOX）別途設備工事 軒天　カラーアルミァ2.0張 スロープ部分　壁、天井　カラーアルミァ2.0加工
パラペット （笠木）	一般　笠木　ステンレスァ1.5加工　W＝350　水切　ステンレスァ1.5加工　W＝320　（SUS316） 化粧手摺　ステンレスァ2.0　60.5φ、50φ PH部　既製アルミ笠木　W＝500
軒　天　井	正面ポーチ部　　カラーアルミァ2.0
庇	1階部分　　カラーアルミァ2.0加工 PH部分　　既製アルミ製庇　巾500
北側 2・3Fテラス	コンクリート打同時押え＋アスファルト防水層（AI－1）＋押出発泡ポリスチレンァ50（B類3種）＋ フラットヤーンクロス＋押えコンクリートァ75木ゴテ押え（ワイヤーメッシュΦ6×100×100）＋ 磁器質床用150角タイル貼　（巾木共）　　　既製アルミ笠木　W＝500
外　壁　北	VFRC版　磁器タイル（50三丁山形）打込み及び花崗岩本磨きァ30打込　　立面図参照
外　壁　東	VFRC版　磁器タイル（50三丁山形）打込み及び花崗岩本磨きァ30打込　　立面図参照
外　壁　南	VFRC版　磁器タイル（50三丁山形）打込み及び花崗岩本磨きァ30打込　　立面図参照
外　壁　西	VFRC版　磁器タイル（50三丁山形）打込み及び花崗岩本磨きァ30打込　　立面図参照
外　壁　PH階	VFRC版　フッソ樹脂光沢仕上　　立面図参照

※ｱ５０ → 厚さ５０mm

株式会社 山下設計　YAMASHITA SEKKEI INC.　ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容　外部仕上表　　図面番号 1112　17　建築一般図　竣工図

内部仕上表

階数	室名	床 下地	床 仕上	床 詳細番号	FLより仕上高 / FLより躯体高	巾木 仕上	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	壁 詳細番号	壁 塗装	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	見切縁	天井H	備考
1階	風除室　1	M	花崗岩ア30	8	±0 / -70	大理石ア30 本磨き	75	S	大理石ア30 本磨き (乾式工法)	7'		LGS	カラーアルミア2.0		カラーアルミ	2675	誘導表示ブロック
	来庁舎ロビー	M	同　上	8	±0 / -70	同　上	75	S	同　上 アルミパネルア2.0	7 / 7' / 15		LGS	12ラワン合板ア12下地 ヒバ練付けア8 詳細番号21参照		木製集成材	3050 3070 2700	TEL台　D-77
	受　付	M	OAフロアー	11	±0 / -70	同　上	75	S	大理石ア30 本磨き (乾式工法)	7		LGS	同　上		塩ビ	2700	誘導表示ブロック 受付カウンター　D-31
	EVホール　1	M	花崗岩ア30	8	±0 / -70	同　上	75	S	同　上	7		LGS	石膏ボードア9.5下地 ロックウール吸音板ア15（リブ付）		塩ビ	2700	
	観光物産コーナー	M	同　上	8	±0 / -70	アクリル焼付塗装	75	LGS	石膏ボードア9.5+12.5 無機質壁紙貼　J工法	3'		LGS	石膏ボードア9.5下地 ロックウール吸音板ア9		塩ビ	2700	

凡例

床　下地の仕上厚さ	壁　下地の仕上厚さ	天井　下地の仕上厚さ
C・・・・コンクリート　ア10	C・・・・コンクリート	C・・・・コンクリート
M・・・・石　ア70	FC・・・・押出成形セメント板ア60	LGS・・・・軽量鉄骨
・・・・タイル　ア40	S・・・・軽量形鋼（C-100×50×20×3.2　@600）	
・・・・モルタル　ア30	LGS・・・・軽量鉄骨	
W・・・・木下地	PT・・・・一部パーティション仕上（仕上は壁と同仕上）	
	VFRC・・・・ビニロン繊維補強コンクリート	

下地　M：モルタル
S,LGS：軽量鉄骨

竣工図

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

東北支社
一級建築士大関勝彦
登録番号 55010号

訂正
OPは、全てSOPと読みかえる

特記

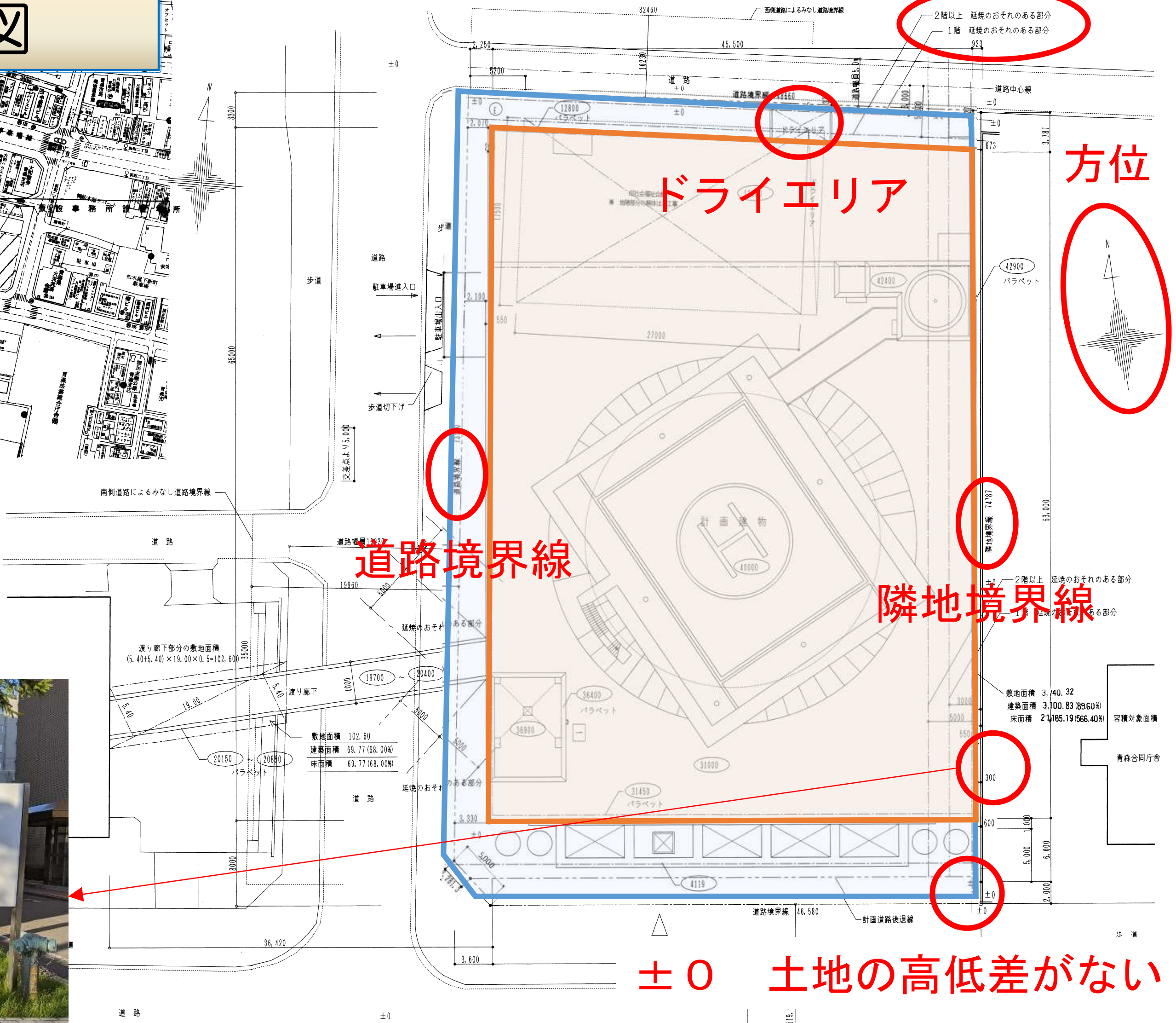
県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容　内部仕上表　1
図面番号　1113
区分　建築一般図

案内図・配置図

案　内　図

延焼のおそれのある部分



ドライエリア

方位

道路境界線

隣地境界線

隣地との境界が３００mm

±０　土地の高低差がない

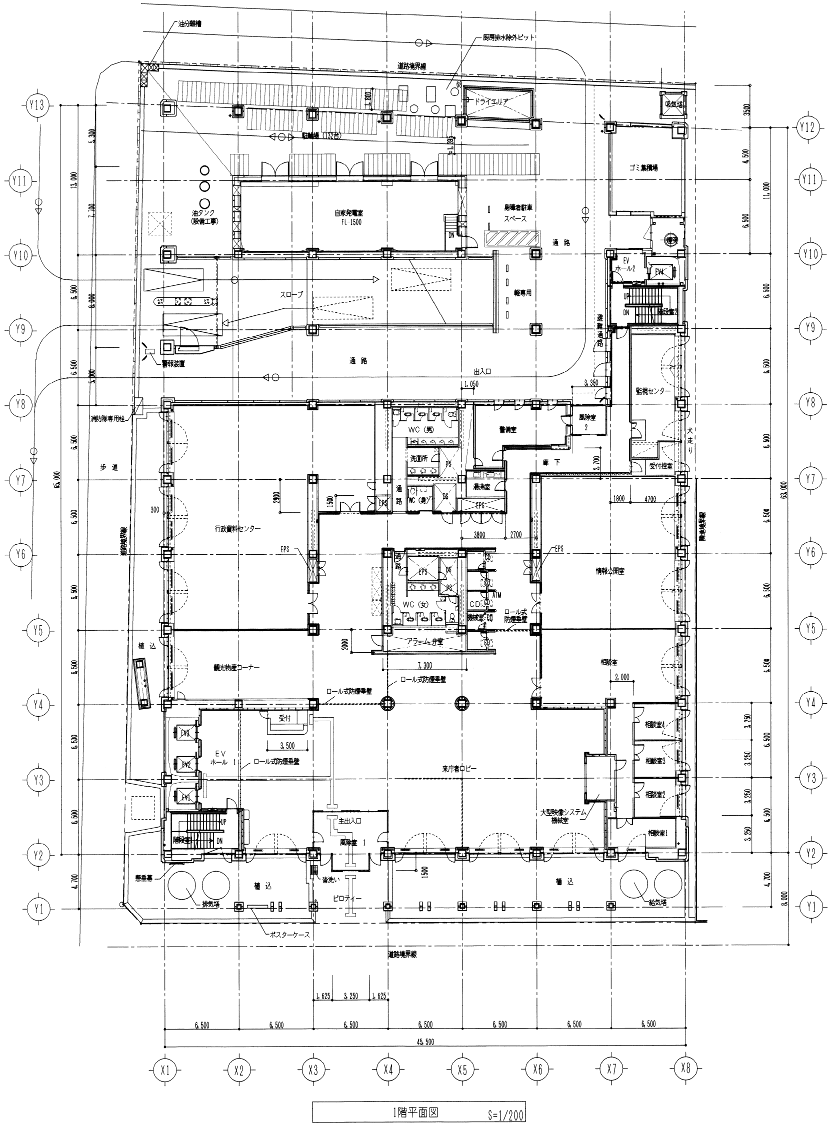
※ブロック塀、駐車場、設備機器の場所も確認

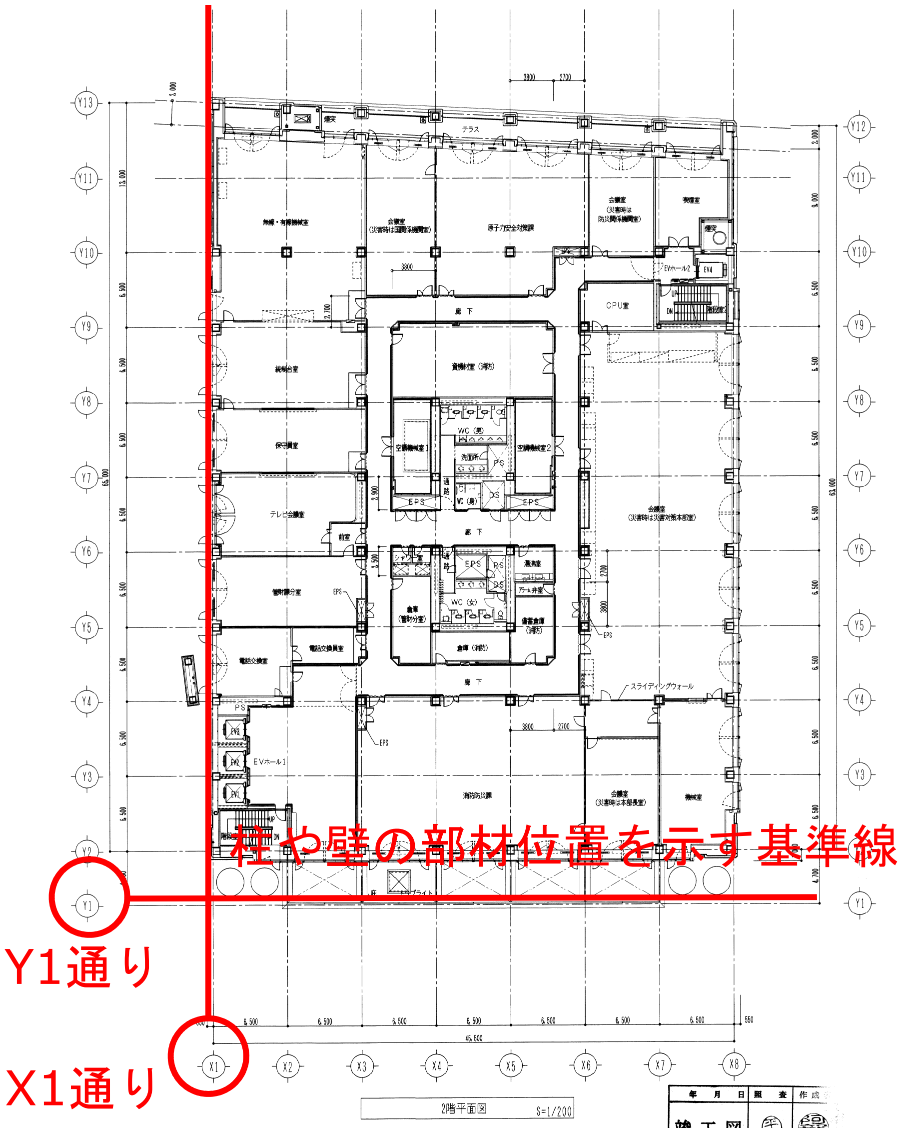
竣工図

印内の数字は地盤面からの高さヲ示す。

株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS	県庁舎北棟（仮称）新築工事	図面内容 配置図、案内図	縮尺 S= 1/200	図面番号 1105	区分 建築一般図

平面図





株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

東北支社
一級建築士大臣登録
登録番号 55010号

県庁舎北棟（仮称）新築工事

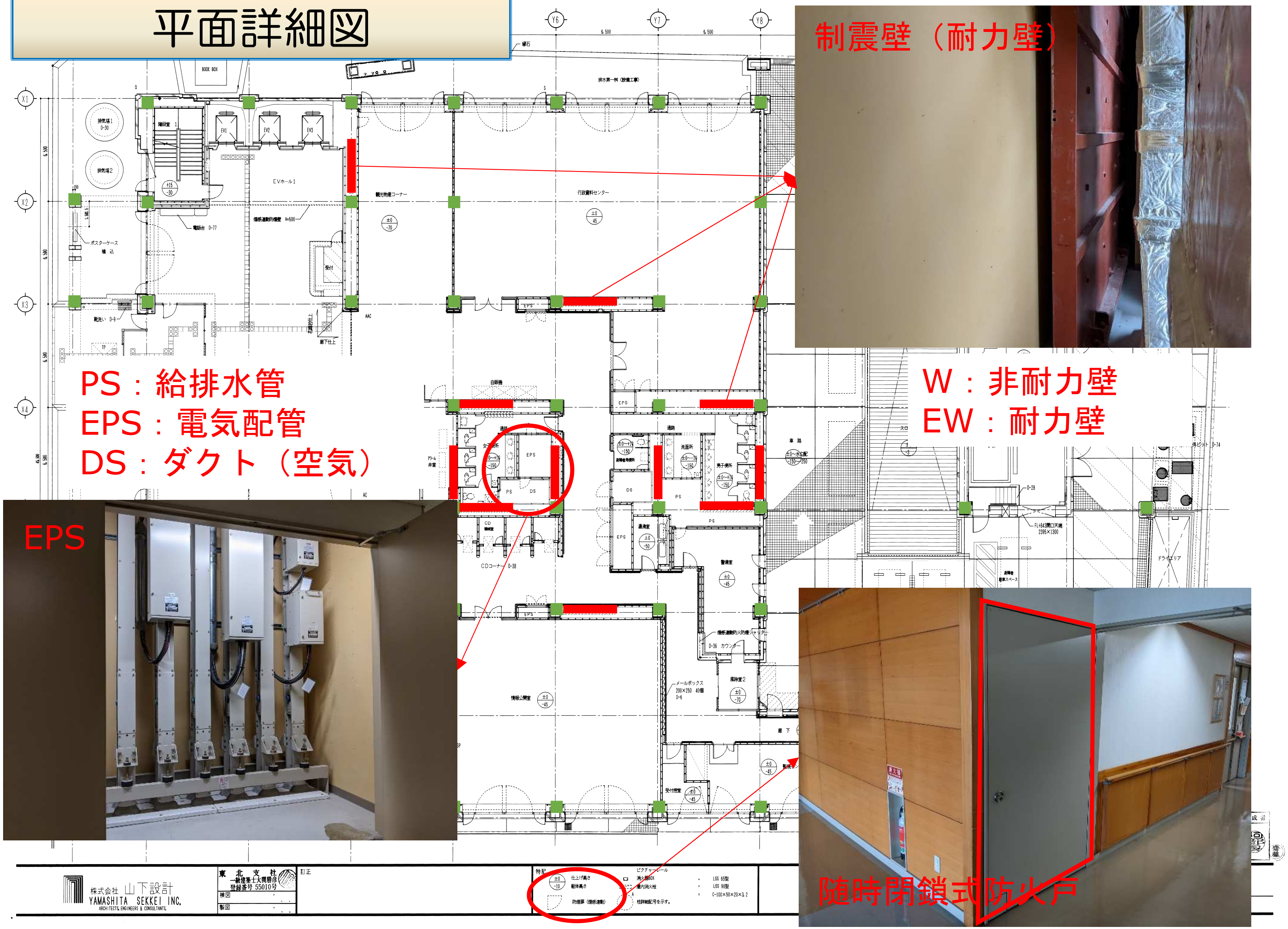
図面内容 1、2階平面図

縮尺 S= 1/200

図面番号 1119

建築一般図

平面詳細図


制震壁（耐力壁）
PS：給排水管
EPS：電気配管
DS：ダクト（空気）
W：非耐力壁
EW：耐力壁
EPS
随時閉鎖式防火戸
EVホール1
観光物産コーナー
行政資料センター
情報公開室
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.

立面図

Ａ：磁器質タイル打込み

延焼のおそれのある部分

道路境界線

隣地境界線

凡　例

記号	仕　上
Ⓐ	VFRC版　磁器質タイル（50三丁山形）打込み
Ⓑ	VFRC版　かこう岩　ア30　打込み
Ⓒ	VFRC版　フッ素樹脂光輝仕上げ
Ⓓ	カラーアルミパネル　ア2.0
Ⓔ	花崗岩貼
Ⓕ	チタンパネル　ア1.5
Ⓖ	花崗岩、本磨き、バーナー仕上
Ⓗ	カラーアルミ　ア2.0

年 月 日	照 査	作成者
竣工図		

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

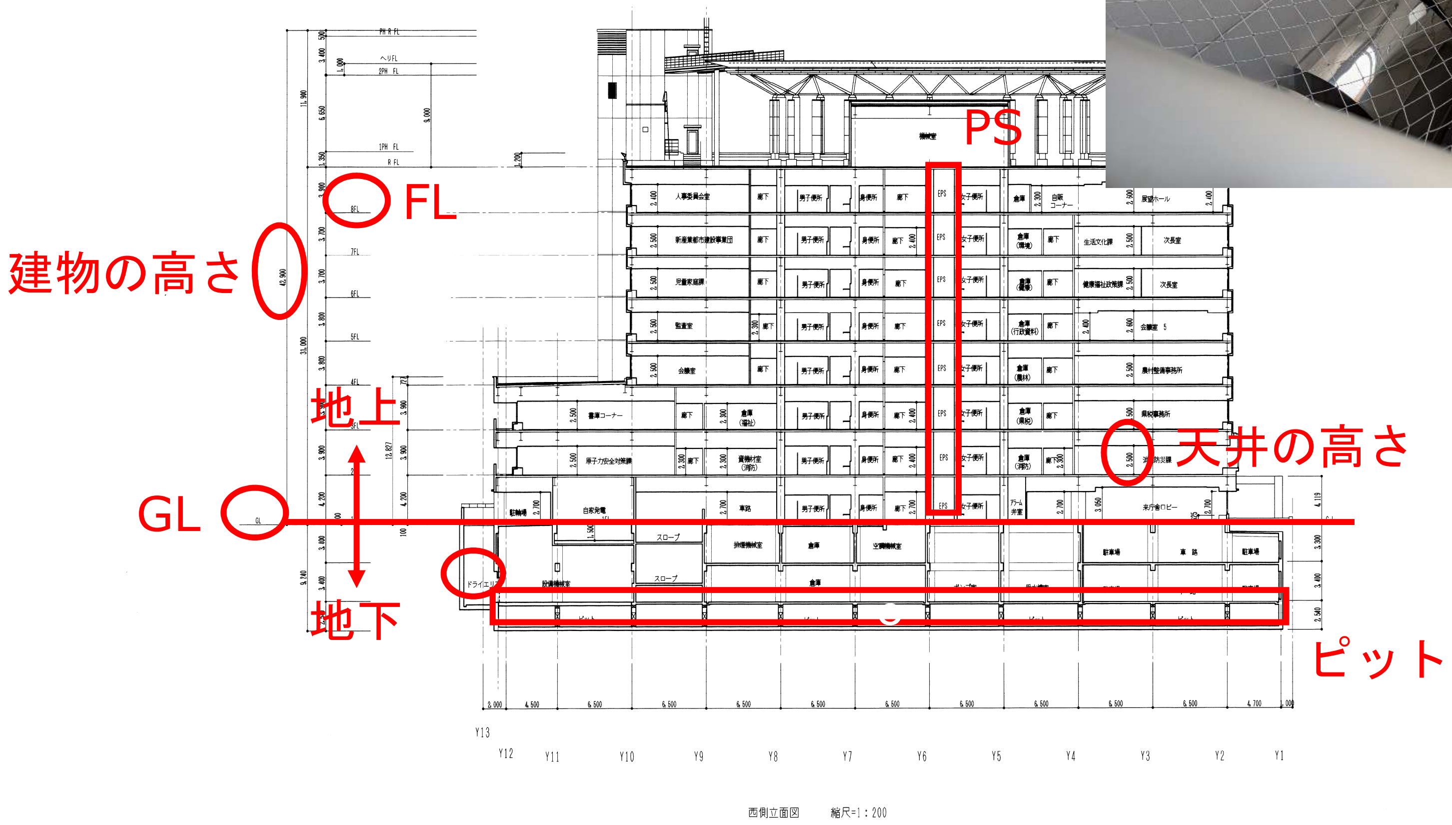
東北支社
一級建築士大関勝彦
登録番号 55010号

検図
製図
訂正
特記

県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容　南 側 立 面 図
縮尺　S= 1/200
図面番号　1124
枚ノ内
区分　建築一般図

断面図



竣工図

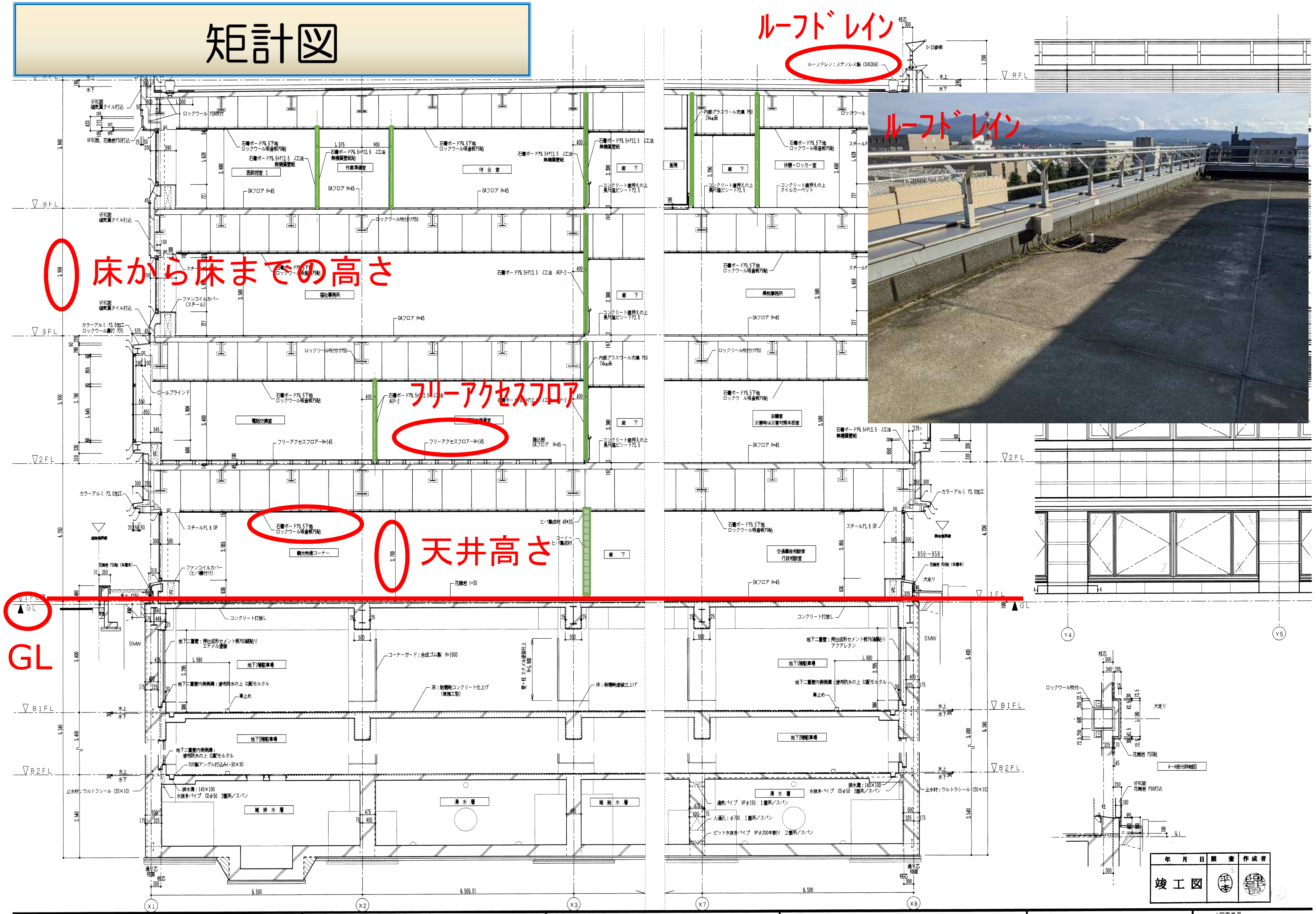
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

東北支社
一級建築士大臣登録
登録番号 55010号

県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容　断面図 1
縮尺　S= 1/200
図面番号　1128
区分　建築一般図

矩計図



株式会社 山下設計 YAMASHITA SEKKEI INC. ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS.	東北支社 一級建築士事務所 登録番号 55010号 検図 製図	訂正	特記	県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容	矩計図 1
縮尺	S= 1/50
図面番号	1130
区分	建築一般図

年 月 日 | 審 査 | 作成者
竣工図

展開図

内部仕上表と合わせて確認

農林整備事務所, 農業改良普及センター	
床	OAフロアー
巾木	長尺ビニール巾木
壁	石膏ボード ア9.5+12.5J工法 AEP-2
天井	石膏ボード ア9.5下地 ロックウール吸音板ア9

会議室, 軽油分留室	
床	OAフロアー
巾木	長尺ビニール巾木
壁	石膏ボード ア9.5+12.5J工法 AEP-2
天井	石膏ボード ア9.5下地 ロックウール吸音板ア9

青写真室, 倉庫	
床	OAフロアー
巾木	長尺ビニール巾木
壁	石膏ボード ア9.5+12.5J工法 AEP-2
天井	石膏ボード ア9.5下地 ロックウール吸音板ア9

農林事務所, 農業研究推進センター 土壌分析室	
床	OAフロアー
巾木	長尺ビニール巾木
壁	石膏ボード ア9.5+12.5J工法 AEP-2
天井	石膏ボード ア9.5下地 ロックウール吸音板ア9

年 月 日	照 査	作成者
竣工図		

株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.
ARCHITECTS, ENGINEERS & CONSULTANTS

東北支社
一級建築士 大関勝彦
登録番号 55010号

補図
製図

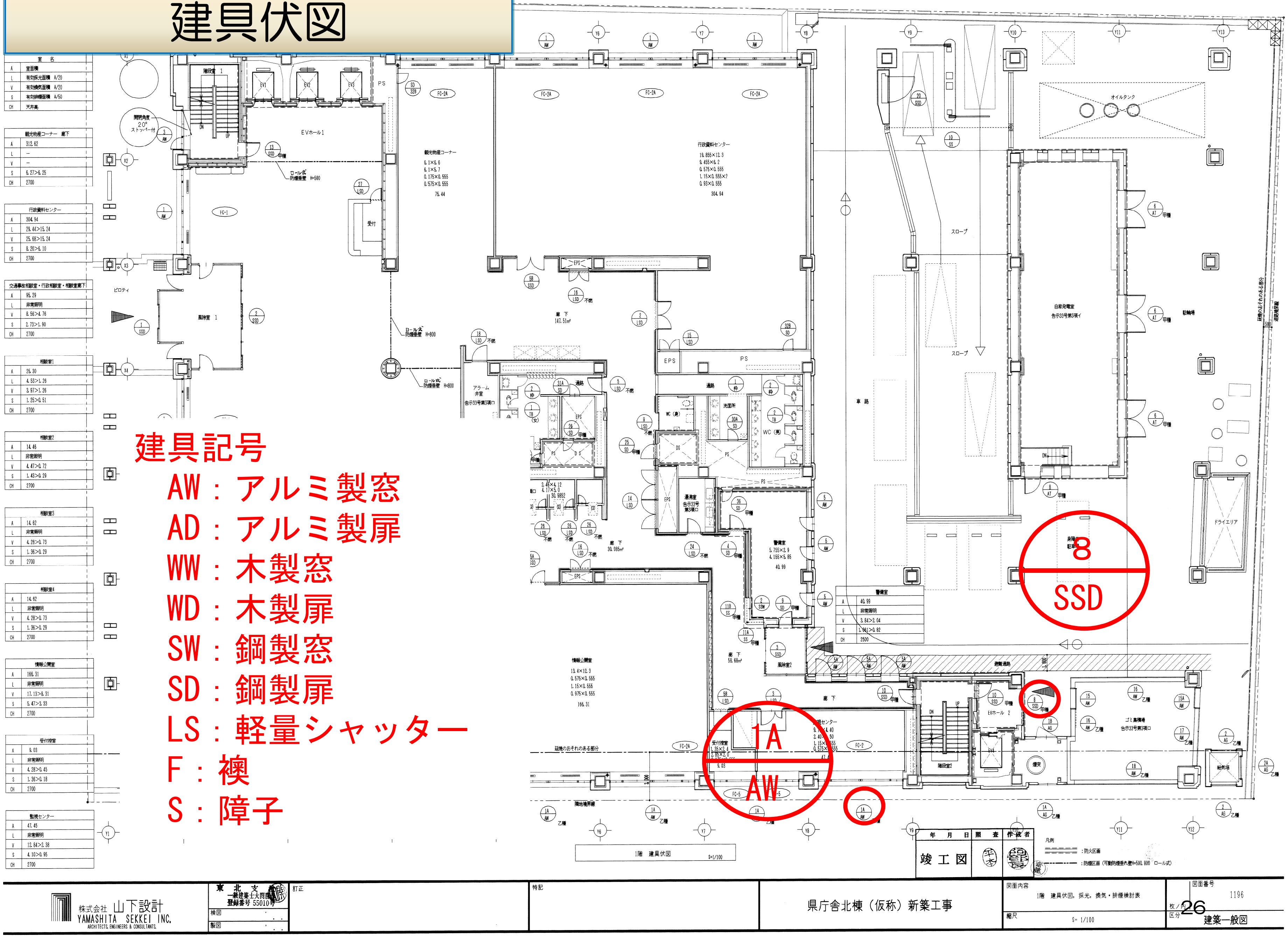
訂正

特記

県庁舎北棟（仮称）新築工事

図面内容: 4階 展開図
縮尺: S= 1/100
図面番号: 1184
枚ノ内 25
区分: 建築一般図

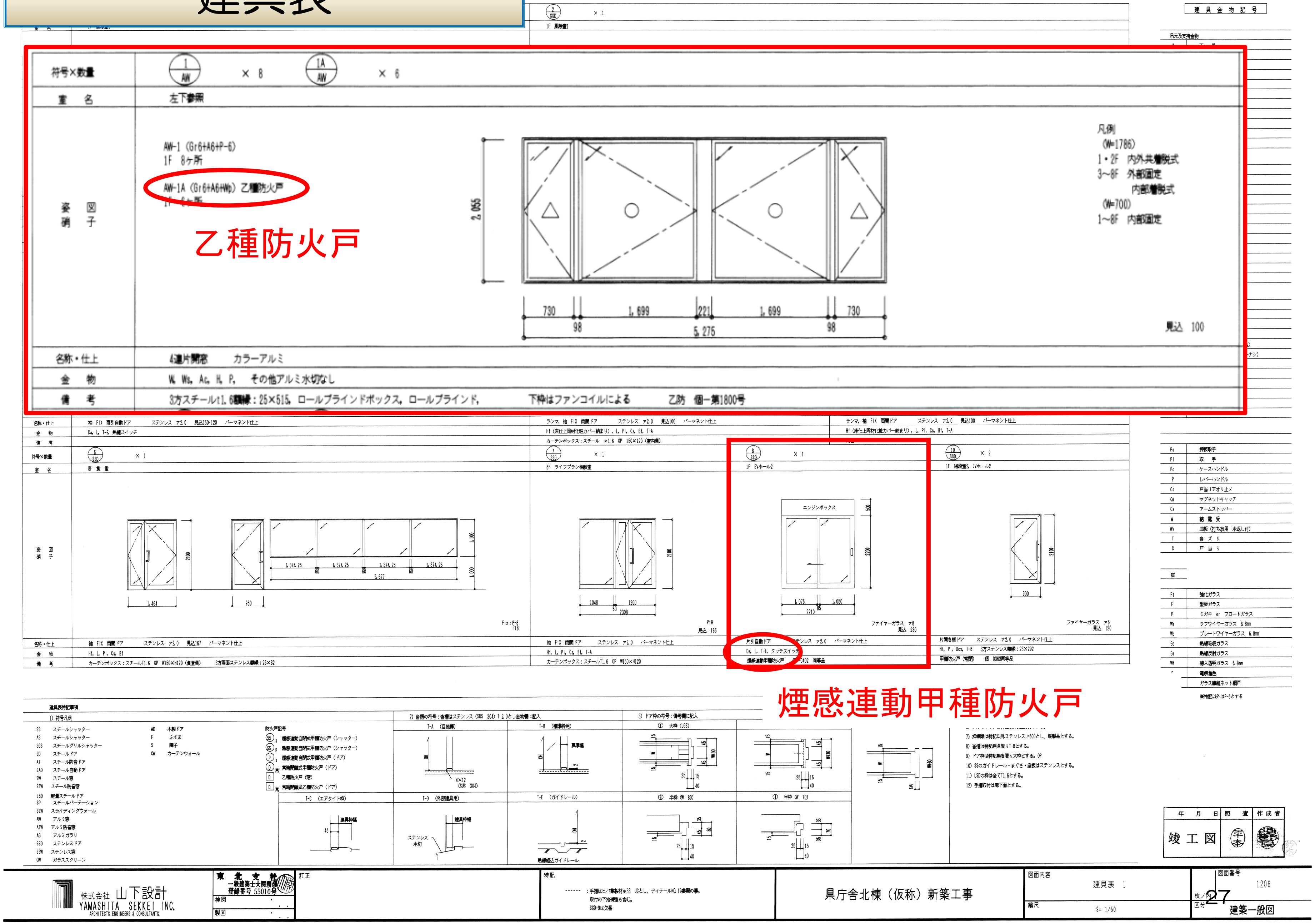
建具伏図



建具記号

- AW：アルミ製窓
- AD：アルミ製扉
- WW：木製窓
- WD：木製扉
- SW：鋼製窓
- SD：鋼製扉
- LS：軽量シャッター
- F：襖
- S：障子

建具表



符号×数量
1 AW × 8
1A AW × 6
室名
左下参照
姿図 硝子
AW-1 (Gr6+A6+P-6)
1F 8ケ所
AW-1A (Gr6+A6+Wp) 乙種防火戸
2,065
730
1,699
221
1,699
730
98
5,275
98
凡例
(W=1786)
1・2F 内外共着脱式
3~8F 外部固定
内部着脱式
(W=700)
1~8F 内部固定
見込 100
名称・仕上
4連片開窓 カラーアルミ
金物
W Ws, Ac, H, P, その他アルミ水切なし
備考
3方スチールt1.6額縁:25×515, ロールブラインドボックス, ロールブラインド,
下枠はファンコイルによる
乙防 個-第1800号
乙種防火戸
煙感連動甲種防火戸
建具表 1
県庁舎北棟（仮称）新築工事
建築一般図
竣工図
株式会社 山下設計
YAMASHITA SEKKEI INC.